

「今月の1枚」



写真① 事務所の窓ガラスにぶつかって脳震とうを起こしたらしくうずくまっていた（17:00）



写真② まだ動きません（横側から）



写真③ 20分ほどして行ってみたら、大分回復した様子です



写真④ この撮影の直後、元気に飛んでいきました（17:25）

ジョウビタキ（ツグミ科） *Phoenicurus auroreus*

体長15cmほどの小鳥で、日本には冬鳥として10月下旬頃に渡来して、3月頃まで見られます。森林の林縁部や明るい疎林などに生息しますが、町中の公園や人家の庭に来ることもあります。尾を上下に振りながら、ヒッヒッという声で鳴きます。

雄は頭部が明るい灰色、顔と喉が黒、背中が暗褐色、腹部が橙色で翼に白い紋があります（写真）。雌は灰褐色を基調とした色彩で、雄に比べると地味に見えます。各種の樹木の果実や昆虫などを食べます。ヒタキという名が付いていますが、ヒタキの仲間ではなく、小型のツグミの一種です。

（写真・文 佐藤重穂 2008.2.4 高知市 森林総合研究所四国支所構内で撮影）

（No.166 2008. 2. 7 掲載）